



平成27年度 あまっこ部会活動報告

あまっこ部会長 妹尾 眞里

これまでの活動の2本柱

あまっこファイル (サポートファイル)

- ファイルは完成し、ホームページを通じてデビューした
- 平成26年度は、保育所、幼稚園、学校の先生方へ校長会などの会議の場でご紹介させていただいた

こどもの社会資源

- 必要な子どもたちが、資源を活用できているのか？
- 制度が変わって、資源の利用が難しい...
- まずは、障害児通所支援の事業所を知ろう
- スタッフの職種、活動内容、バリアフリーの状況などを網羅した一覧を作成

今年度の取り組みについて、KJ法で課題を整理

保護者、子どもを取り巻く環境への支援

- 親支援、子育て支援、情報
- 福祉、教育の連携
- 理解を助ける方法 など

啓発、研修、連携、居場所

- 地域のイベントでの啓発
- 非行、性教育、不登校などの課題
- 資源を使うことを通じて親同士の出会い
- あまっこファイルを使って

社会資源の整理と相談窓口の整理

- どこに相談すればよいか社会資源への入口が分からない
- 資源を使うための手続きが難しい

3

今年度の取り組みは...

あまっこファイル

- 「つくる」「活用する」を応援しよう！
- あまっこファイル書き方教室の開催

こどもの社会資源

- 社会資源につながる仕組みや、相談窓口が分かりにくい
- まずは、あまっこ部会の委員同士で、社会資源の情報や相談窓口の状況を勉強しよう！

4

あまっこファイル 啓発活動について

	1回	2回	3回	4回	5回	6回
書き方教室	7月14日	11月11日	2月24日			
	4人	7人	3人			
相談会	10月19日	11月16日	12月21日	1月18日	2月15日	3月14日
	2人	4人	3人	3人	2人	4人
書き方教室 (団体・事業所等 からの依頼による)	7月22日	11月25日	12月18日	2月17日	3月17日	
	5人	4人	12人	6人	9人	

計14回で、のべ68人の方がご参加くださいました！

5

あまっこファイル 書き方教室

- 対象者を、当初就学前のお子さんの保護者と限ったが、リクエストが多く、年齢の枠を広げて開催
- 2部構成の前半は、あまっこファイルの特徴や、書き方の工夫を伝えた。
- 特に、あまっこファイルならではの添付資料「サポートブック」の書き方は、芦屋ランチの協力により、丁寧に説明。
- 後半は、ファイルの一部を書き込むワークの後、グループに分かれて意見交換を行う。
- グループごとに出た意見を、全体で発表してフィードバック

6

あまっこファイル書き方教室

- あまっこファイルを作ったことがある人とない人の意見交換
- 就学前のお子さんへ、先輩お母さんからアドバイス
- 書いてみて、見せ合いっこをして意見交換
- その場では書けなくても、次に来た時に進んでいた人も...
- 色々な意見が聞け、他の人に伝える経験ができる
- 新たなわが子への発見や、不安の軽減につながった

- **次は、実際に、先生や支援者に伝えるステップへ...**

7

あまっこファイル書き方相談会

- ある程度決まった時間・場所で、月1回開催
- 気軽にきていただけるよう、出入りは自由。子どもさん連れOK!

8

あまっこファイル書き方相談会

- 初めてあまっこファイルを見る人には、簡単に説明も行います。
- 「家で、ひとりで書くと詰まるけど、時間を決めて相談会に出かけ、お話をしながらだと進みます」
- 「こんな風に伝えてみたらどうだろう？」
- 「この項目は、どう書いたらいいかなあ？」
- 「全部書いてしまわなくてもいい？」
- 不安や、お子さんについての理解を母同士で情報交換

9

あまっこファイル 今後の課題

- 書き方教室、相談会で丁寧に伝える活動は進んでいる！
- 一方、あまっこファイル自体、まだまだ知られていない
- 受け取ってもらった経験、よかったこと、上手いかなかったことの情報、まだ集まっていない

**次は、受け取る人への啓発と、ポスター作製による
広報活動へ...**

10

あまっこファイル 大切にしたいこと

- 情報が独り歩きしないよう、渡したファイルは返してもらって、新たに出会う人へも丁寧に手渡していこう。
- 家庭と学校、地域での姿がそれぞれで違って当たり前。一人の子どもの姿として認め、伝えることで理解を深めていこう
- 「 すれば できる」環境の工夫や配慮を見つけることがわくわくするような応援を、細く長く続けよう
- 困っていることも伝えたい。エピソードを伝える時の配慮として、「 だけど、先生の のような配慮があって楽しめた」など、読み手がうれしくなる表現、関わりのヒントにつながる表現を

11

社会資源・相談窓口について

- 委員同士で、それぞれの機関がもつ相談窓口について紹介。

12

社会資源・相談窓口 さまざまな窓口

保健

- 地域保健担当
- 健康増進課（専門相談）

教育

- 教育相談担当
- スクールカウンセラー

福祉

- 生活支援相談課（スクールソーシャルワーク、家庭児童相談）
- 西宮こども家庭センター
- 障害福祉課
- 障害児通所支援
- 委託相談支援事業、特定相談支援事業、障害児相談支援 など

13

社会資源・相談窓口 発達障害者支援センター クローバー芦屋ブランチ

- 発達障がい児者（未診断も含む）を対象とする
- 学校、幼稚園、各団体等へ講師派遣
- 子どもが通う場へ出向き、どのように関わるかなど、具体的に示す機関コンサルテーション
- 費用は無料

14

社会資源・相談窓口 障害児等療育支援事業

- 在宅支援訪問療育等指導事業...家庭や、事業所等へ専門スタッフが巡回指導
- 在宅支援外来療育等指導事業...専門スタッフのいる施設へ、外来で指導を受ける。診療でなくてもOK
- 施設支援一般指導事業...子どもが通う事業所や施設、学校などの職員に対して、専門スタッフが指導を行う
- 自己負担は無料。
- 一人の人が、いろいろなサービスを使いすぎることによって混乱するなど負担にならないよう、利用についてコーディネートを行う

15

社会資源・相談窓口 スクールソーシャルワークについて

- 教育、福祉、保健など、チームで子どもを支援する体制を整えるしくみ
- 子どもや保護者が直接利用するというよりは、教育機関に福祉の視点でサポート体制を構築する

16

社会資源・相談窓口 教育委員会の社会資源と相談窓口

- 学びの場について
- 教育相談担当と特別支援教育担当の役割
- 基本は通学先の担任、教頭、校長が相談の窓口
- 不登校の相談について
- 進路先の相談について

17

社会資源一覧について 今後の課題

- 出来上がったものは、相談窓口のスタッフの資料として活用
- ホームページへの掲載など、一般への公開用は、シンプルな装丁に替えていくことを検討

18

社会資源一覧について 今後の課題

- 障害児通所支援だけでなく、インフォーマルな社会資源の情報収集が課題
- 社会資源につながるためのしくみ、フローチャートの作成を目指す
- 情報の更新について

19

さいごに...

- KJ法で抽出した課題は、障害のあるなしに関わらず、また、年齢によらない課題もたくさんあります。
- 各部会とも、地域の課題として共有し、解決を目指していくことも検討していけたらと考えています。

20